



## 集団的自衛権の「容認」で殺人事件が増える



6月30日の国会南門前、右奥の首相官邸に抗議の人の波

安倍内閣は遂に「集団的自衛権容認」の閣議決定を強行。

憲法九条は

憲法九条には「戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する」とある。

これを無視して集団的自衛権を口実に、海外で武力行使し「集団安全保障」でも武力行使するという安倍内閣の新解釈。憲法を変え

るのは国民の権限。内閣が解釈で憲法を変えるのはクーデターだ。

戦争に参戦すると・

海外の戦争に行くとならば、敵に撃たれる前に撃たねばやられる。「テロリスト」と云うが、家族もいる。米軍の爆撃で子供が殺された人かも知れない。又、銃の先にいるのは敵では無いかも知れない。何も考えず、倫理観にこだわらず銃を撃つのだ。

帰還兵は

現代日本では大抵の人は銃の撃ち方を知らない。戦争に行けば、銃の撃ち方を覚え、倫理観にこだわらず銃を撃ち人を殺す。そして帰還。殺人事件も増える。米国のように。皆さんはどう思われますか？

## 西大滝ダム

長野県飯山市・野沢温泉村

二〇一四年六月二六日



日本で一番長い川のは「信濃川」。だが、長野県内では「千曲川」と呼ばれる。

西大滝ダムは千曲川の左岸が飯山市、右岸が野沢温泉村の所にある。ダムの高さは14m。このダムから直線距離で二十キロ下流に落差百mの信濃川発電所がある。佐久間ダムに次いで年間発電量の多い発電所だ。

放射能汚染や廃棄物などの心配の無い自然エネルギーの発電所である。しかし、発電用に全ての水を取水すると、ダムの下流の栄村には水が流れない。

環境も悪くなり、鮭も遡上できない。二〇一一年から、環境を守る為に常時ダムから少量放流している。

ダムのこちら側には魚梯があり、最近では鮭が遡上するようになったと云う。